SONY

3-754-357-04(1)

UHF/VHF/FM/AM 4バンドラジオ

取扱説明書•保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICF-890V

Sony Corporation © 1991 Printed in Japan

ラジオ
ICF-890V
T10-1001A-1

主な特長

- 家庭用電源、乾電池のどちらの電源でも使える2電源方式。
- 好みの音質に調節できる音質調節つまみ付き。
- VHFの1～12チャンネルとUHFの13～62チャンネルのすべてのテレビ（TV）音声が楽しめるTVバンド付き。
- TUNE（チューニング）インジケーターが、放送を受信すると点灯します。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高い所（40℃以上）や低い所（0℃以下）。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 風呂場など湿気の多い所。
  - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンなどは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気が変化して使えなくなることがありますのでご注意ください。
- イヤホンをご使用中、肌にあわないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはテクニカルインフォメーションセンター、お客様ご相談センターに相談してください。
- このラジオのテレビ音声回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、テクニカルインフォメーションセンターまたは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として
「テクニカルインフォメーションセンター」
を開設しています。
お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合せください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：048-794-5194
受付時間：月～金 午前9時から午後6時まで
（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
- 型名
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

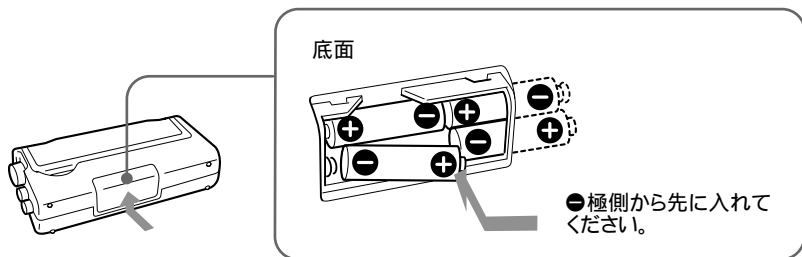
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金 9:00～20:00
土・日・祝日 9:00～17:00

この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

電源について

乾電池で使うには

単3形乾電池4本を入れます。

1　電池入れのふたを開ける。

2　乾電池の⊕と⊖の向きを正しく入れる。

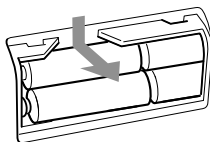
3　ふたを閉める。

乾電池の持続時間

ソニー単3形(R6)マンガン乾電池使用時　約24時間 (JEITA*)

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

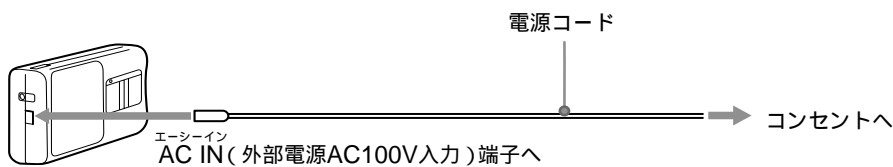
乾電池を取り出すには

イラストのように乾電池を取り出します。

乾電池の交換時期

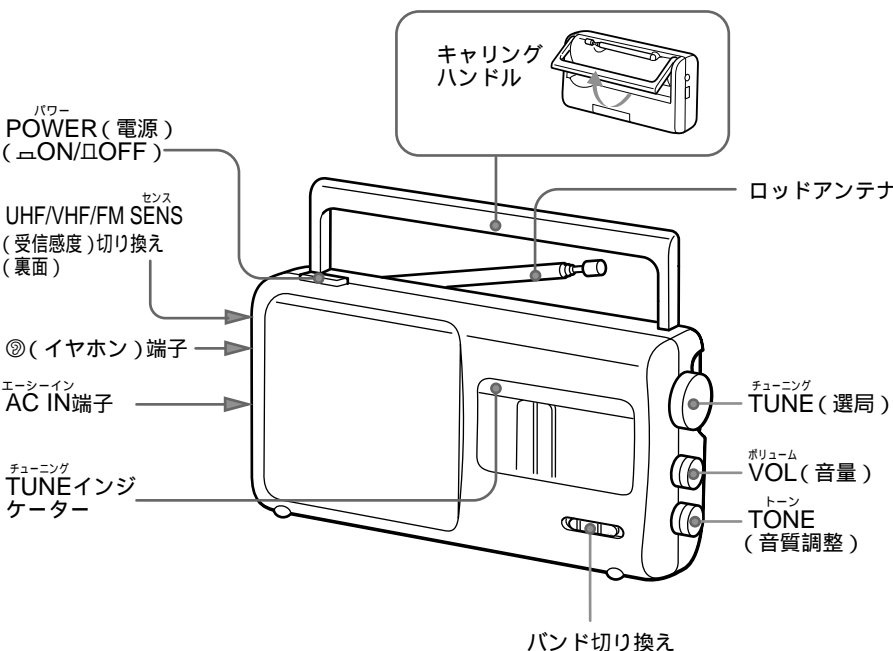
乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

乾電池で使うときは電源コードをAC IN端子とコンセントから抜いてください。つながれていると乾電池では使えません。

コンセント（家庭用電源100V）で使うには

付属の電源コードを、AC IN端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。乾電池が入っていても自動的に家庭用電源に切り換わります。

ご注意

- 乾電池の液漏れを防ぐために、コンセントでお使いの場合は、乾電池を取り出しておくことをおすすめします。
- 長い間ご使用にならないときは、電源コードをAC IN端子とコンセントから抜いてください。

ラジオを聞く

1　POWER（電源）スイッチを押して電源を入れる(⊔ON)。

2　バンド切り換えスイッチでUHF,VHF,FMまたはAM放送を選ぶ。

TV (1–3ch)放送を聞く場合はFMに合わせます。

3　TUNE（選局）つまみを回して聞きたい局に合わせる。

放送を受信するとTUNEインジケーターが点灯します。

4　VOL（音量）つまみを回して音量を調節する。

電源を切るときは

POWER（電源）スイッチをもう一度押します(⊓OFF)。

イヤホンで聞くときは

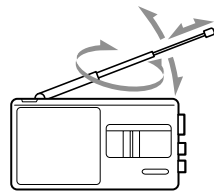
イヤホンを　◎（イヤホン）端子に差し込みます。
イヤホンをつなぐとスピーカーから音は出なくなります。

音質を調節するには

TONE（音質調整）つまみを回します。
右に回すと高音が強くなります。
左に回すと低音が強くなります。

受信状態をよくするには

UHF/VHF/FM放送の場合

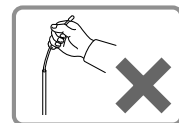
ロッドアンテナの長さと方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節します。ただし、UHF放送を受信するときは、アンテナを伸ばさない方がよい場合があります。

AM放送の場合

アンテナを内蔵しているので受信状態が最も良くなるようにラジオの向きを変えてください。

UHF/VHF/FM SENS（受信感度）スイッチの使いかた

通常はDXにしておきます。電波が強すぎて受信しにくいときや、雑音が入る場合はLOCALにします。

ご注意

- 乗り物やビルの中では電波が弱められますので、雑音が気になるときは、なるべく窓際でお聞きください。
- 金属物などにラジオを近づけると受信状態が悪くなることがあります。金属物などから離してお使いください。
- ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損することがあります。

主な仕様

受信周波数	UHF : 13～62チャンネル VHF : 4～12チャンネル FM : 76～108 MHz（TV1～3チャンネル） AM : 530～1,605 kHz
スピーカー	直径10.2 cm、丸型8 Ω 1個
実用最大出力	430 mW（JEITA*）
出力端子	◎（イヤホン）端子（Φ3.5 mmミニジャック）1個
電源	AC 100 V、50/60 Hz DC 6 V、単3形乾電池、4本
最大外形寸法	約225×129×62.6 mm（幅/高さ/奥行き）（JEITA）
質量	約998 g（乾電池含む）

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

付属品

電源コード（1）*
ソニー単3形乾電池（お試し用**）(4)
イヤホン（1）
取扱説明書・保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

* 100V専用のため、海外ではご使用になれません。
** 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。